

各種防災気象情報の解説

特別警報・警報・注意報

予想される大雨や強風などによって災害が起こるおそれがあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれがあるときは「警報」を、さらに、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」を発表。

注意報の対象となる現象

強風、風雪、大雨、大雪、高潮、波浪、洪水、
雷、濃霧、乾燥、なだれ、霜、
低温、着雪、着氷、融雪

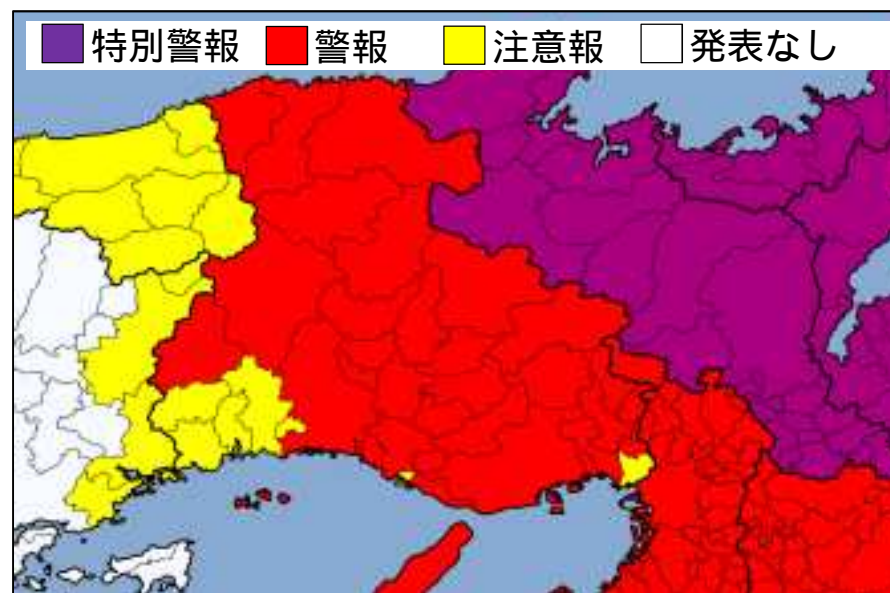
警報の対象となる現象

暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪、洪水

特別警報の対象となる現象

暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪

平成25年台風第18号時の大雨特別警報・警報・注意報発表例



現象ごと、市町村ごとに発表。

特別警報・警報・注意報

実際の発表例(平成26年台風第8号時における沖縄市への発表)

平成26年7月8日14時12分 沖縄気象台発表

沖縄本島地方の注意警戒事項

【特別警報(大雨、暴風、波浪、高潮)】本島中南部では、土砂災害や河川の増水に警戒してください。沖縄本島地方では、暴風や高波、高潮に警戒してください。

沖縄市 [発表]大雨特別警報(土砂災害)

[継続]暴風, 波浪, 高潮特別警報 雷, 洪水注意報

特記事項 土砂災害警戒 浸水注意

8日夜のはじめ頃までに洪水警報に切り替える可能性がある

土砂災害 警戒期間 9日明け方まで

注意期間 9日明け方まで

浸水 注意期間 9日明け方まで

雨のピークは8日昼過ぎ

1時間最大雨量 50ミリ

風 警戒期間 9日明け方まで

注意期間 9日昼過ぎにかけて 以後も続く

ピークは8日夕方

南東の風

陸上 最大風速 45メートル

太平洋側 最大風速 45メートル

波 警戒期間 9日昼過ぎにかけて 以後も続く

注意期間 9日昼過ぎにかけて 以後も続く

ピークは8日夕方

波高 14メートル

高潮 警戒期間 8日18時頃まで

注意期間 9日6時頃まで

ピークは8日15時頃

最高潮位 標高 2.0メートルの高さ

雷 注意期間 9日昼前まで

洪水 警戒期間 8日夜のはじめ頃から 9日明け方まで

注意期間 9日明け方まで

付加事項 うねり 竜巻

注意警戒が必要な事項。

特別警報・警報・注意報の種類。大雨特別警報・警報には、特に警戒すべき事項を括弧で記述。

土砂災害や浸水に関する注意警戒、警報発表の可能性を記述。

現象毎に、注意警戒期間、ピーク時間、予想最大値を記述。

災害に結び付くおそれのある現象を記述。

気象情報 - 1 警報や注意報に先立ち警戒・注意を呼びかけ

警報や注意報に先立って、予想される現象に対する警戒・注意を呼びかける。

文章形式

台風第18号に関する東京都気象情報 第2号
平成26年10月4日17時10分 気象庁予報部発表

(見出し)

大型で非常に強い台風第18号は、6日日中に関東地方に最も接近する見込みです。東京地方や伊豆諸島では、5日は大雨や強風、高波に注意が、6日には大雨や暴風、高波に警戒が必要です。

(本文)

[台風の現況と予想]

大型で非常に強い台風第18号は、4日15時には南大東島の東北東約120キロの海上を1時間を1時間におよそ10キロの速さで北北西へ進んでいます。中心の気圧は935ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は50メートル、最大瞬間風速は70メートルで、中心から半径190キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

台風第18号は、5日には進路を北東に変え、6日には東日本にかなり接近し、関東地方には6日日中に最も接近する見込みです。また、本州付近には前線が停滞するでしょう。

[防災事項]

<大雨・雷>

5日は前線の影響により、伊豆諸島では昼前から、東京地方では夜のはじめ頃から、1時間に30ミリ以上の激しい雨が降るでしょう。6日には局地的に1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨の降るおそれがあります。

5日18時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、

東京地方 50ミリ

伊豆諸島 100ミリ

その後、6日18時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、

東京地方、伊豆諸島 100から200ミリ

の見込みです。

土砂災害や低地の浸水、河川の増水・はん濫に注意、警戒してください。また、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。発達した積乱雲の近づく兆しのある場合は、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

(後略)

図形式(PDF形式)

台風第18号に関する東京都気象情報 第3号
平成26年10月5日06時36分 気象庁予報部発表

大型で非常に強い台風第18号は、6日午前中に関東地方に最も接近する見込みです。東京地方と伊豆諸島では、**土砂災害や低地の浸水、河川の増水やはん濫、暴風や高波に警戒してください。**



次の「台風第18号に関する東京都気象情報」は5日18時頃に発表する予定です。

注意・警戒が必要な時間帯を表示。

翌日以降の大雨、暴風や高波などのおそれを呼びかけている。

気象情報 - 2 警報等を発表中に、現象の経過等を解説

警報等を発表中に、**現象の経過、予想、防災上の留意点などを解説。**

文章形式

大雨と雷及び突風に関する青森県気象情報 第3号
平成26年8月6日06時32分 青森地方気象台発表

(見出し)

青森県では、津軽を中心に**土砂災害の危険度が非常に高まっています**。青森県では、6日昼前にかけて、津軽を中心に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる見込みです。6日は土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水やはん濫に厳重に警戒し、落雷、竜巻などの激しい突風、ひょうに注意してください。

(本文)

【気象状況】

前線が津軽海峡付近に停滞しています。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、青森県では大気の状態が非常に不安定となっています。

【雨・雷】

< 実況 >

雨の降り始めの5日02時から6日06時までの主な地点の総雨量は以下のとおりです。

(アメダス速報値)

深浦	139.5ミリ
鱒ヶ沢	135.0ミリ
五所川原	125.5ミリ
外ヶ浜町蟹田	114.0ミリ

(中略)

< 地域・時期・量的予想 >

青森県では、6日昼前にかけて、津軽を中心に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる見込みです。また、6日夜遅くにかけて積乱雲が発達する所がある見込みです。

7日06時までに予想される雨量は、いずれも多い所で、

	1時間雨量	24時間雨量
津軽	60ミリ	120ミリ
下北	45ミリ	100ミリ
三八上北	40ミリ	80ミリ

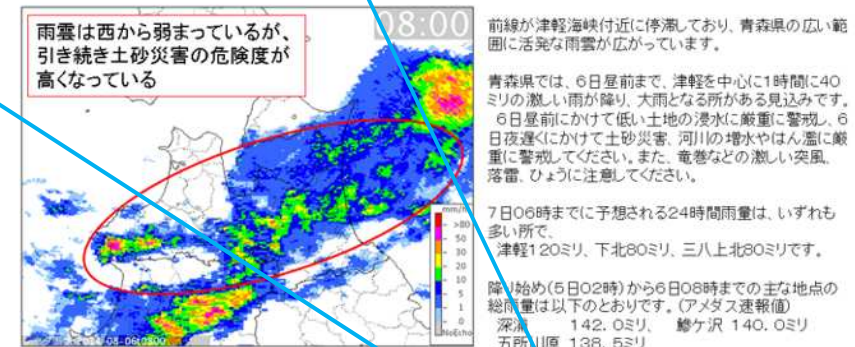
なお、その後も断続的に雨が降るため、総雨量はさらに増える見込みです。

(後略)

図形式(PDF形式)

大雨と雷及び突風に関する青森県気象情報 第4号
平成26年8月6日08時28分 青森地方気象台発表

青森県では、津軽を中心に**土砂災害の危険度が非常に高まっています**。青森県では、6日昼前にかけて、津軽を中心に雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる見込みです。6日は低い土地の浸水や土砂災害、河川の増水やはん濫に厳重に警戒し、落雷、竜巻などの激しい突風、ひょうに注意してください。



今後気象台の発表する警報や注意報、竜巻注意情報、気象情報に留意してください。次の「青森県気象情報」は、6日11時30分頃に発表する予定です。

危険度が高まっていることを呼びかけている。

すでに大雨となっている上、引き続き大雨となるおそれがあることを呼びかけている。

記録的短時間大雨情報

大雨警報を発表中、府県内で**数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨**を**実際に観測**したときに発表。その地域にとって、災害の発生につながるような稀にしか観測しない大雨になっていることを周知。

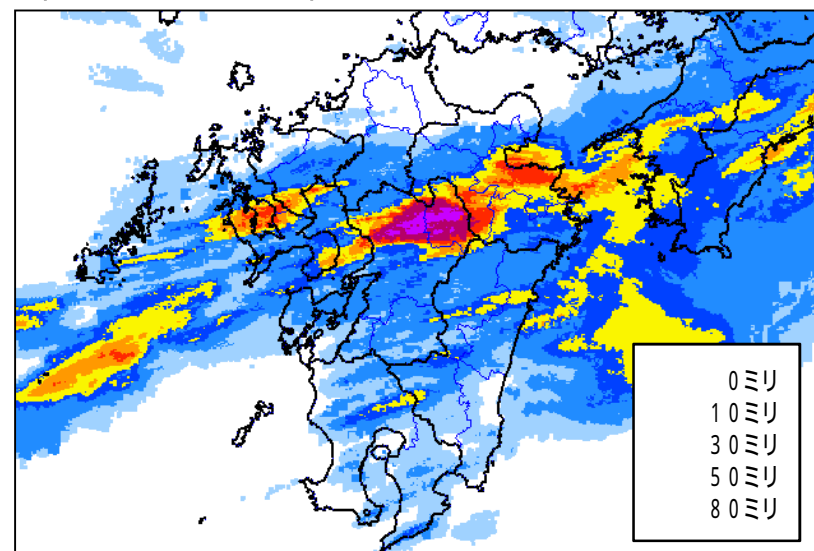
平成24年7月九州北部豪雨における記録的短時間大雨情報の例

熊本県記録的短時間大雨情報 第4号
平成24年7月12日04時23分
熊本地方気象台発表

4時熊本県で記録的短時間大雨
菊池市付近で約110ミリ
阿蘇市付近で約110ミリ
合志市付近で約110ミリ

実際に観測した場所と降水量を列記。

(当時の一時間雨量)



土砂災害警戒情報

大雨警報を発表中、土砂災害の危険度がさらに高まったとき、都道府県と気象庁が共同で「土砂災害警戒情報」を発表。「土砂災害警戒判定メッシュ情報」は、5km四方の領域(メッシュ)ごとに、土砂災害発生の危険度を5段階に判定した結果を表示。

土砂災害警戒情報の例

広島県土砂災害警戒情報 第1号
平成26年8月20日 1時15分
広島県 広島地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】
広島市* 廿日市*

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】
<概況>
降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
<とるべき措置>
崖の近くなど土砂災害の発生しやすい特にお住まいの方は、早目の避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告等の情報に注意してください。
<補足情報>
危険度の分布は、インターネットで確認できます。(「広島県土砂災害危険度情報」、
「気象庁土砂災害警戒判定メッシュ情報」)

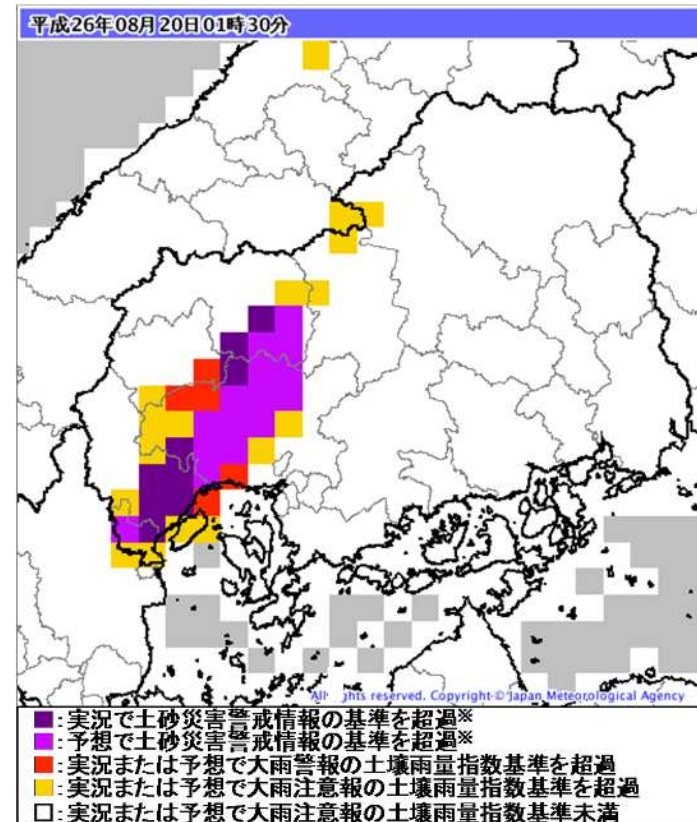


警戒対象地域

県と共同発表。

警戒対象市町村を記載。

土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示例(気象庁HP)



台風情報

台風の実況と、今後予想される進路や強度等を発表。

台風情報の例

平成25年 台風第27号に関する情報 第20号 (位置)
平成25年10月23日15時50分 気象庁予報部発表
(見出し)

強い台風第27号は、南大東島の南南西約180キロを1時間におよそ15キロの速さで西北西へ進んでいます。
(本文)

強い台風第27号は、**23日15時には**
南大東島の南南西約180キロの
北緯24度20分、東経130度30分にあつて、
1時間におよそ15キロの速さで西北西へ進んでいます。
中心の気圧は955ヘクトパスカル
中心付近の最大風速は40メートル、
最大瞬間風速は55メートルで
中心の北東側190キロ以内と南西側150キロ以内では
風速25メートル以上の暴風となつています。
また、中心の北側440キロ以内と南側390キロ以内では
風速15メートル以上の強い風が吹いています。
…(略)…

台風の中心は、**12時間後の24日3時には**
南大東島の南西約150キロの
北緯25度00分、東経130度00分を中心とする
半径90キロの円内に達する見込みです。
中心の気圧は960ヘクトパスカル
中心付近の最大風速は40メートル、
最大瞬間風速は55メートルが予想されます。
予報円の中心の北東側280キロ以内と南西側240キロ以内では
風速25メートル以上の暴風域に入るおそれがあります。

24時間後の15日9時には
…(略)…

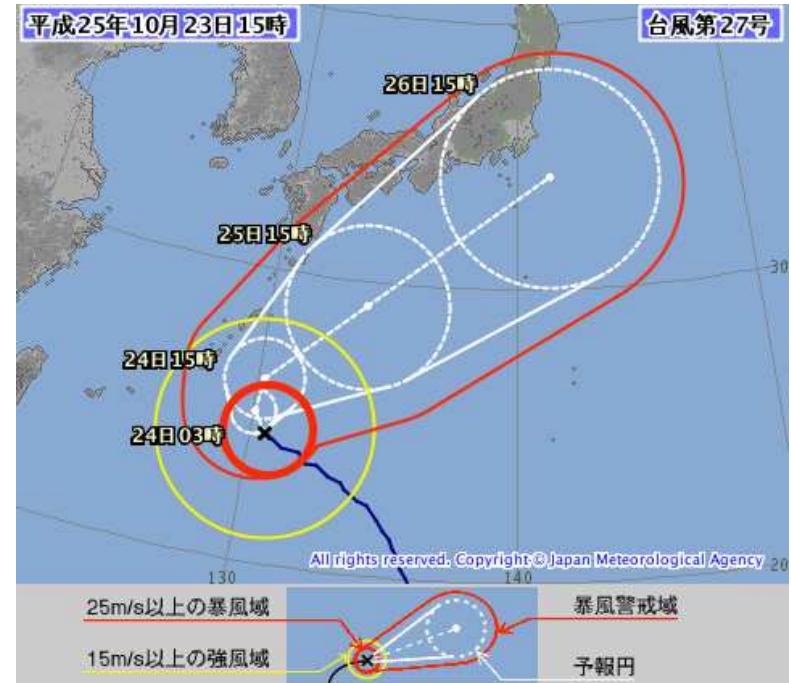
48時間後の16日9時には
…(略)…

72時間後の17日9時には
…(略)…

現在の台風の位置や強度等。

今後予想される進路や強度等。

気象庁HPでの表示例



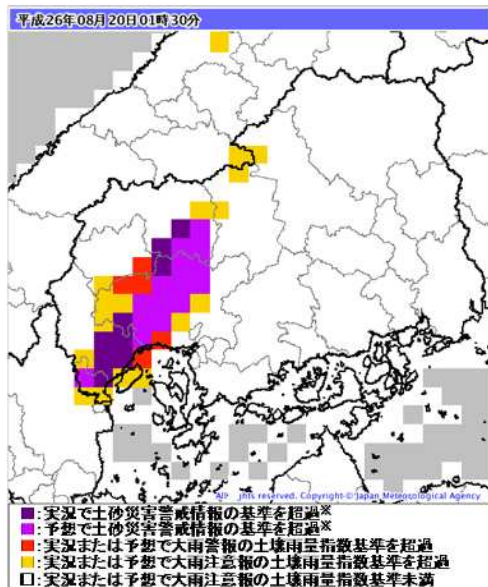
予報円：70%の確率で台風の中心が位置すると予想される範囲。
暴風警戒域：台風が予報円内に入ったときに暴風域に入るおそれがある範囲。



強度予報は3日先までだが、
進路については5日先まで予報。

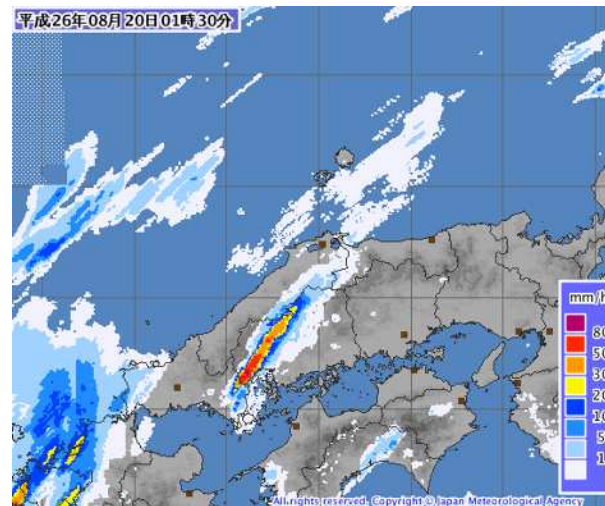
各種メッシュ情報

現象の強さや災害の危険度などを**メッシュ形式**で提供。市町村ごとに発表される警報などを受け取った住民や自治体防災担当職員などが、**当該市町村内のどこが危険な状況になっているのかを視覚的に把握**することができる。

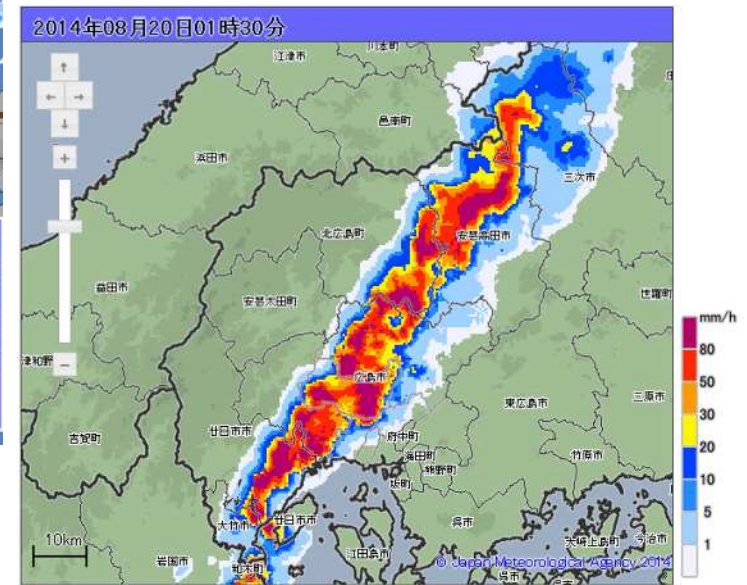


土砂災害警戒判定メッシュ情報
<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

気象庁HPにおけるメッシュ情報の表示例



解析雨量・降水短時間予報
<http://www.jma.go.jp/jp/radame/>



高解像度降水ナウキャスト
<http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

防災気象情報の段階的な発表例

平成26年9月11日北海道千歳市への大雨警報等発表状況

